

Volume.16 2017 年夏号

# 公共空間

公共政策・実務の  
最前線を届ける情報誌

**特集 民主主義**



# 特集 **民主主義** (2017. Summer Volume.16)

こんにちは。「公共空間」編集委員会です。  
今回のテーマは「**民主主義**」です。

民主主義という言葉、よく耳にするよう  
になりました。

イギリスのEU離脱、アメリカの大統領選挙。  
一方で民主主義の危機が叫ばれたと  
思えば、他方で民主主義の勝利が  
宣言されています。

18歳選挙権に、主権者教育、耳慣れない  
言葉も増えました。

私たちは、民主主義をわかっているようで、  
わかっていない。  
そんな気がしています。

わかっていないなりに考えて、記事を書きました。  
いろいろな「**民主主義**」、それを考える  
きっかけになれば幸いです。

「民主主義は危機ではない！？」

ーイギリスのEU離脱とトランプ大統領  
選出から見えるものとはー」

待鳥聡史 教授

京都大学大学院法学研究科

「ネット時代の未知との遭遇

ー政治の認識枠組みとメディアー」

稲増一憲 准教授

関西学院大学社会学部

「水俣市に『知の拠点』を

ー水俣環境アカデミアー」

古賀実氏、田上朋史氏

水俣市総合政策部 水俣環境アカデミア

「主権者教育ってなんだ？

ー学校教育と民主主義ー」

猪股彩子氏

文部科学省 生涯学習政策局  
青少年教育課

「地方議会の民主主義

ー議会の公開と円滑な意思決定と  
の均衡ー」

木村亮太氏、平岩征樹氏、  
藤井哲也氏

京都大学公共政策大学院11期生

## 寄稿

シンガポール スタディトリップを終えて  
自主活動英語議論会コーナーテーブル

## 学生寄稿

「連邦最高裁人事から見えるトランプ政権」  
沼尾優希 京都大学公共政策大学院11期生

## 学生投稿募集中

毎号、学生からの投稿を掲載しています。  
公共政策に関するものであれば、テーマは自由です。

### 字数と形式

3500～4500字程度とします。  
授業で作成したレポートやプレゼンテーション資料を  
用いていただいて構いません。  
(ただし、文章形式でお願いします。)

本誌は縦書きの書式であるため、  
数字の表記を直すなどの調整をしておいてください。

### 応募要件

京都大学公共政策大学院に在学中の大学院生であること。

### 応募方法

各号ごとに締め切りを設定します。編集委員にご相談ください。

### その他

応募多数の場合、編集委員会による協議の上、  
執筆者やテーマの決定をさせていただきます。  
ご了承ください。

### お願い

本誌掲載の記事・写真・イラスト等の  
無断転載や二次利用は  
お控えください。

よろしくお願いたします。



## 編集後記

豊原「できあがるのが遅くなり関係者の方にご迷惑をおかけしたことをお詫びします。今回の記事づくりを通して、インタビューの難しさや面白さについて感じ、大変貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました！」

丹下「取材での取れ高は、現場での巧みな話術ではなく、事前のリサーチと構成力にかかっているのだと実感しました。

丹念な下調べとそれによるメ切遅刻とはまた別の話ではあります（ごめんなさい）」

堺「色々ありましたが、無事終わりました。ありがとうございました。」

弟子丸「『公共空間』は入学前から読んでいた雑誌でした！多くの方々のご協力のおかげで、なんとか完成させることができました。ありがとうございました。」

北村「記事の作成が遅くなり、大変申し訳ございませんでした。そして、みんなのおかげで、私の記事を無事に完成させることができました。ありがとうございました。」

服部「デザインの担当をさせていただきました。ありがとうございました。」

## 『公共空間』 2017年夏号 (通巻第16号)

発行人 『公共空間』編集委員会

編集長 堺峻平

編集委員 北村拓哉

丹下智

弟子丸知樹

豊原圭次朗

服部桂子

編集顧問 中西寛

編集協力 公共政策大学院掛

表紙撮影 大文字山からの風景

(撮影 服部桂子)

京都大学公共政策大学院

『公共空間』編集委員

住所 〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学公共政策大学院

TEL : 075-753-3126

MAIL :

kokyokukan2017@gmail.com

「京都大学学術情報リポジトリ  
(KURENAI)」

<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/>

